

2020  
5月号

# ＊原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-2-4-



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

## 核固執勢力は核軍拡・軍事費予算を新型コロナ対策に回せ！

### ・・・広島に結集しない8月原水爆禁止世界大会を創意工夫の大会に・・・



新型コロナウイルス感染症拡大の事態に  
応じて、「核兵器廃絶、  
気候危機の阻止と反  
転、社会的経済的正  
義のために」をテー  
マにした原水爆禁止  
世界大会（ニューヨ  
ーク）がオンライン  
で4月25日、開か  
れました。これは、中止とな  
った世界大会ニューヨーク実  
行委員会の企画委員会が主催  
したもので、日本からは日本  
被団協、日本原水協、原水禁  
が呼びかけたものです。  
「核兵器廃絶のためのた  
かいと現局面」パネルでは、  
五名の方が発言されました。  
日本被団協の和田征子さん

## 非核の政府・自治体・ヒバクシャ・市民の共同の力で 2020年に核なき世界を、核兵器禁止条約の発効を

（写真右上）  
は被爆者の苦  
しみと核兵器  
廃絶の強い思  
いを、日本原  
水協の高草木  
博さんは核保  
有国と核依存  
国に対し国連  
総会第一号決  
議「原子兵器  
廃絶」の実行  
を迫り、その  
資源を人類と  
地球を守るた  
めに使うべき  
だと主張しま  
した。また、  
17歳の環境  
問題活動家の  
シエ・バステ  
イダさん（写  
真右二番目）  
は「核兵器問  
題でも一番影  
響を受ける世  
代として運動  
に参加しなけ  
ればならな

### オンライン世界大会NYを実施(4月25日)

ニューヨーク 9-11、ヨーロッパ 15-17、東アジア 22-24  
地球をかけたぐる

コロナウイルス問  
題との関係で日  
本原水協の取り  
組み①3・1ピ  
キニデー、ニュ  
ーヨーク世界大  
会の中止とその  
代替措置として  
のオンラインで  
結ぶオンライン  
世界大会を4月  
25日に開催す  
ること②いまこ  
そ原水爆禁止運  
動の役割発揮す  
ること、国連の  
グテーレス事務  
総長が3月23

い」と話しました。中満泉国  
連軍縮担当上級代表（右2列  
3段目）は、「ヒバクシャ国際  
署名の重要性を指摘、被爆者  
と若者がつながることの大切  
さ、使われようとする核兵器  
の今日、未曾有の人類の危機  
の脅威を訴えています。  
パネル2「行動と優先課題」  
では、四名の方が発言されま  
した。労働団体の代表、中東  
の非核化を求める団体、貧困  
問題を訴える団体、そして国  
際平和ビュローの代表です。  
これらの様子は録画されてい  
ますので、視聴できます。（英  
語での視聴です。詳細は下表  
\*\*\*\*\*  
日本原水協の全国常任理事  
会が4月16日オンラインで  
開催されました。議題は、コ  
ロナウイルス問  
題との関係で日  
本原水協の取り  
組み①3・1ピ  
キニデー、ニュ  
ーヨーク世界大  
会の中止とその  
代替措置として  
のオンラインで  
結ぶオンライン  
世界大会を4月  
25日に開催す  
ること②いまこ  
そ原水爆禁止運  
動の役割発揮す  
ること、国連の  
グテーレス事務  
総長が3月23

日に人類的な脅威に  
直面している現状の  
もとで「自国優先主  
義」などの対立や分  
断ではなく、国際協  
調と連帯が求められ  
ていると強調、「使える核兵  
器」へ米ロが突き進む今日の  
情勢は、いったん核兵器を使  
うならば全面核戦争となり、  
コロナの人類の脅威以上の脅  
威を地球上にもたらします。  
被爆75年の今年、日本の  
原水爆禁止運動が被爆者にと  
もに「核兵器のない平和で公  
正な世界」への展望と行動を  
全国と世界に発信しなければ  
ならない、との提案です。  
具体的に2020年世界大  
会の持ち方と「平和の波」行  
動が提案されました。

### 広島・長崎に結集しない

### 創意工夫した世界大会を！

オンライン世界大会を8月  
6日、9日に全国各地とつな  
ぐ新発想・創意ある大会を企  
画します。  
大阪原水協は広島大会へ4  
00名の代表派遣を提起して  
いましたが、今日の状況を鑑  
みて旅行業者にホテルと新幹  
線をキャンセルしました。加  
盟団体におきましては、すで  
に予約などをしておられまし  
たら、速やかにキャンセルな  
どをしていただきたいと思います。  
8月6日、9日の原水爆禁  
止世界大会の具体的ななどりく  
みは、今後の機関会議で加盟  
団体のご意見を集約しながら  
決めていきたいと考えていま  
す。

### オンライン世界大会NYの視聴案内

<https://worldconference2020.org/>



または

日本原水協HPの「動画」サイトにアクセスを！

### 核兵器禁止条約批准国

36か国(あと14か国で50か国に)

### ヒバクシャ国際署名数

59万8184筆 (4月30日現在)

### 署名のお願い

コロナ感染で外出できにくい  
状況です。大阪原水協のホー  
ムページにWEB署名ができる  
ようにアップしてあります。これ  
らを利用していただければあり  
がたいです。

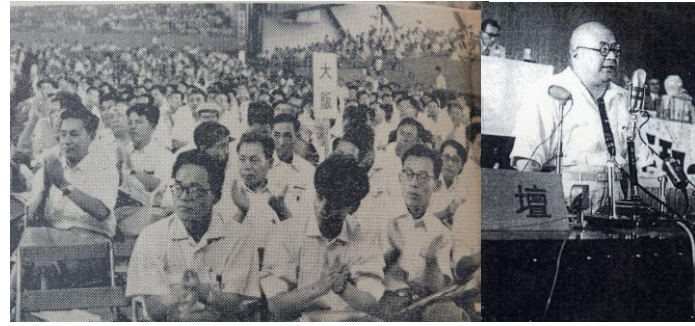
# 歴史を切り拓いてきた原水爆禁止世界大会

アーカイブ 2000年以前（前半）

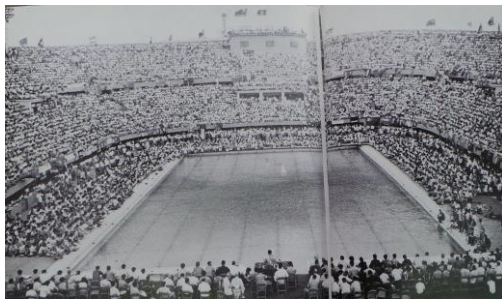


▲1963年第9回世界大会

総評・社会党による大会会場キャンセルの妨害に青空分科会を開催、統一をもとめる大阪の高校生代表団など活躍、ソ連などの策動を克服して大会を成功させる（8.6 広島）



☞1957年第3回世界大会  
大阪原水協初代会長となる小畑忠良大阪平和を守る会代表が世界大会で世界平和評議会コロombo総会の報告、150名の大代表団を送った大阪代表団（8.12 東京）  
※大阪原水協は1958年3月22日結成



▲1964年第10回世界大会

大阪総評・社会党が統一に背を向けるなかで大阪原水協再開後の世界大会は、大阪が閉会総会の場となります。旧大阪プールを満杯にした世界大会は大阪の平和勢力の奮闘で大成功をおさめます。

※ベトナム代表が8月2日に米国による陰謀のトンキン湾事件をこの会場で告発し、ベトナム支援の運動が大きく広がっていきます（8.5 大阪）



▲1972年第17回世界大会

能勢ナイキ基地反対の運動の最中の大会にゼッケンをつけて参加する大阪代表団



▲1990年世界大会

5年間にわたって取り組まれてきた「ヒロシマ・ナガサキアピール署名」の府民過半数を達成したことを世界大会（広島大会の開会総会）で報告する新宮良正大阪原水協理事長大阪から559名の大代表団が広島に派遣されました。（8.4 広島）

15日(水) 享月 日 業斤 屋間

■2019年の核軍縮の取り組みを点数で表すと？

NPT加盟国=101点満点	
英国	27.6点 (25点)
フランス	21点 (20点)
米国	11.9点 (16点)
中国	7点 (8点)
ロシア	4点 (5.7点)
NPT非加盟国など=98点満点	
インド	-0.5点 (2点)
パキスタン	-1.5点 (0点)
イスラエル	-2点 (-2点)
北朝鮮	-5.5点 (-2点)

「ひろしまレポート」から作成。カッコ内は2018年の数字。

絶対に向けた各国の取組みを分析する報告書「ひろしまレポート」を公表した。米ロの中距離核戦力（INF）全廃条約が失効するなど、世界の動きは「停滞・逆行のスパイラルに陥っている」と指摘した。

## 世界の核廃絶「停滞・逆行」

昨年を評価ひろしまレポート

広島県は14日、核兵器廃絶に向けた各国の取組みを分析する報告書「ひろしまレポート」を公表した。米ロの中距離核戦力（INF）全廃条約が失効するなど、世界の動きは「停滞・逆行のスパイラルに陥っている」と指摘した。

核不拡散条約（NPT）の加盟国と非加盟国の両方を含む計36カ国が対象。保有数などの「核軍縮」▽国際原子力機関（IAEA）への協力などの「核不拡散」▽関連条約への加入などの「核セキュリティ」の3分野計65項目で2019年の取り組みを評価した。

米国については、前年に比べて3分野とも評価を下げた。米ロの新戦略兵器削減条約（新START）の期限延長に向けた態度が不明確な点などを批判した。

中国とロシアに対しては、核弾頭搭載可能な運搬手段の開発と配備を「積極的に推進している」と指摘した。一方で、核兵器の削減を進める英国は「透明性が高い」として、評価を上げた。

北朝鮮は、2月の米朝首脳会談で合意が成立せず、その後も進展がなかったなどとして評価を下げた。

報告書はインターネットで「ひろしまレポート2020年版」を検索すれば閲覧できる。（北村浩貴）

4月15日朝日新聞の報道で「ひろしまレポート」を紹介されました。

### 4月の注目するマスコミ報道

非核の政府を求める会シンポジウム

被爆75年—核兵器依存政府から禁止・廃絶政府へ

2019・12・14

- 核兵器廃絶へ心躍る機勢、2020年の展望を考える  
原水協副会長 日本核兵器廃絶国際会議代表団長 森本 博さん
- 冷徹な破壊行政—いついぞこの政府か  
日本非核地帯建設国際会議代表団長 本村 幸徳さん
- ベトナム戦争で核出撃基地にされた沖縄  
国際会議代表団長 眞原 晴治さん
- 共同の力で核兵器条約に署名する政府はいますか  
日本非核地帯建設国際会議代表団長 豊井 達さん

非核の政府を求める会

お薦めの書籍  
自宅での学習テキストに  
如何ですか

『被爆75年—核兵器依存政府から禁止・廃絶政府へ』  
昨年末の12月14日に開催された非核の政府を求める会のシンポジウムをまとめたパンフレットです。  
ご希望の方は  
頒価 1000円  
問い合わせ：非核の政府  
を求める会へ  
(TEL.03-5844-6588)

【お知らせコーナー】  
「第2回地域・団体代表者会議」 ※コロナ感染などの事情で  
日時：5月27日（水）午後 変更することもあります  
場所：大阪市立社会福祉センター（谷町7丁目）  
【お願い】  
1955年から始まった原水爆禁止世界大会は65年の歴史を刻んでいます。各年度の世界大会の写真を収集しております。ご自分が参加した世界大会の写真をご提供ください。スナップ写真でもJPEGでも結構です。お持ちの方は原水協・平和委員会ライブラリー係にお送りください。  
E mail:osk-gensuikyo@piano.ocn.ne.jp